

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

## RSIの上昇ラインが崩れれば売り！



### ■ コメント ■

本日の白金は、137円高の3983円で終る。東京(15:30)の白金スポットレートは1275.5ドル。  
前日の夜間取引やNY市場の上昇を受け、寄付から4000円を試すなど大幅に上昇して始まった。その後、一時4000円を下回り利食いなども見られたが、午後からは再度4000円を上回ると、4月13日付けた高値4032円を睨んだ動きとなり、4015円まで高値を追った。只、届かなかった事から週末の利益確定も入り、下げて終っている。  
東京市場では現物価格が徐々に水準を切り下げ、投機的なNY市場の価格に届かず終わっている事などを考えれば、一時的な達成感も考えられる。  
テクニカル的には、買いの状態だが相対力(RSI)にトレンドラインを引くとそろそろ転換する可能性が高く、買うには危険性が高い。また、今週の上昇要因であった為替市場でのドル安も、来週は米長期国債の5年・30年物の入札が予定されており、入札が不調になればリスク許容度の低下からドル買いの動きが強まると見られ、NY市場の貴金属は調整があってもおかしくないだろう。  
(16:17記 田栗)

### ■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	3690円
移動平均(40MA)	3667円
RSI(9日)	77.12%
%D	93.04
slow%D	91.63

### 商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。  
詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。